

この度のエクアドル地震支援金にたくさんのご協力いただきまして、大変ありがとうございます。

カノア在住の小沢さんを通し、約 200,000 円をカノアの漁協組合へ寄付しました。皆様からいただいた寄付金で、漁網（右写真）など、漁業に必要な物品を購入しましたのでご報告いたします。



震源地近くのカノア（震源地のムスィネから直線で約 130Km 南西に位置し、莫大な被害を受けました）は、観光業と漁業が主でサーフタウンとしても有名で、多くの外国人観光客が訪れ賑わっていました。この町で唯一の在留邦人である小沢さんが、宿を経営されていたことから、多くの日本人観光客もお世話になっている町です。今回の被害情報の詳細も小沢さんを通して知る機会となり支援いたしました。

支援を受けた漁師からは「日本の皆様からの支援に深く感謝します。いただいた魚網でエビ漁をします。皆様からの支援のおかげで私たちは少しずつ前へ進むことができます。」とのコメントをいただきました。下の写真は小沢さんが漁師の皆さんに魚網を配布している様子です。



地震から約半年が過ぎ、ここカノアでも、国からの援助で少しずつ仮設住宅の援助や住宅修復工事も進みつつありますが、まだまだ避難所でテント生活をされている方も多くいます。地元住民のほとんどが漁業で生計を立てており、テント生活から海に出て、働きにでている方もいます。地元住民の活気向上と町の復興を願い漁業組合への支援へとさせていただきます。

写真左：テント外観

写真右：テント内部

